

会 長 挨拶

クローバーリーフが創立して半世紀たち、新たな気持ちでスタートしたところです。

4月にはアニバーサリーを開催し、今までにない最高の天気にも恵まれ、参加者800名を超え嬉しい悲鳴となりました。昨年と同様、前日からの会場を借りての準備に当日は、少し余裕をもって行動できたと思います。

県内外からの多くの参加者とコーラーによる盛り上がり、特にゲストの大川康太郎さんの迫力ある、また変化のあるコールで参加者を魅了していました。

しかしパーティー開始から2時間ばかり過ぎたころから、音響が悪くなり、また反省することが増えたところです。(詳細は音響について参照) そのほかにも、いろいろありましたが、皆さんの協力のおかげで終えることができました。感謝、感謝です。

新会員については、1月に4名の方がビギナー修了パーティーを行い、4月のアニバーサリーでデビューしました。

水曜夜のクラスは、1名と寂しい限りですが、昨年からはスタートしました火曜午前中のクラス(作草部公民館)の方が、夜の例会に3名参加され期待しております。

午前中のクラスは、5月に9名(夜のクラス3名を含め)の方がビギナー修了し、6月から、新たにビギナー募集をします。

9月には、夜のクラスの新人募集を行います。ここ数年の傾向として、なかなか入ってこないのが現状です。

両方とも新聞、ちらし等

で募集をしますが、皆さんが知り合いの方に声かけをしていただき、一人でも多くの新人が入るように動いていただくことが一番だと思います。声かけをお願いします。

例会は、アニバーサリー終了後、出席が1セット近く少なくなっていて心配ですが、現在、MS踊り込みに加え、RDも初めての方を中心に講習を行って、以前より充実感が増してきているのではないかと思います。今後も、皆さんの意見を聞きながら、会員の出席率が上がるような内容にしていきたいと考えています。

終わりに、水曜日例会が「出席してよかった、楽しかった」といつも思えるように、皆さんと一緒に進めていきたいと思いますので協力よろしくをお願いします。

【会長 窪園弘治】



クローバーリーフタイムスは1993年8月の創刊号から今回で40号となりました。
歴代の編集された方にお話を伺いました。(5頁参照)

第51回 アニバーサリー

4月16日開催のアニバーサリーは天候にも恵まれ、県内55クラブ576名、県外63クラブ234名、当クラブ員を合わせ計808名の参加を得て、盛大に行われました。

昨年に続き前日からの準備もでき、以前より余裕はできましたが、まだ次回に活かすべき点はあると思います。

会員一同準備、当日の対応等大変ご苦労されたと思います。各ご担当のご感想、ご意見を頂きました。

プログラム・運営担当

今年のアニバーサリーは、茅ヶ崎SDCの大川康太郎さんをゲストコーラーにお迎えし、いつもどおり2会場での開催となりました。

今回のプログラムの特色としては、まず、初めてAD(アドバンス)チップを設けたことです。難しい動きが好きな上級クラスのダンサーには結構、喜ばれたのではないのでしょうか。

また、ゲストコーラーのチップを増やしたことも特色です。大川様には、やさしいMSからADまで、すべてのレベルに、全部で13チップ以上のコールをお願いしました。ダンサーにとっては、ゲストコーラーのコールを十分に堪能していただけたのではないかと、思っています。

さらに、昨年も好評だった、カントリー

ダンスを2チップ、お昼の時間に設けました。



当日のサプライズとしては、昨年のゲストコーラー、島田秀幸様が金子裕行様と一緒にコールをされ、大いに場を盛り上げていただきました。ダンサー、特にアップビーツファンには、突然のビッグプレゼントになったと思います。

当日の運営は、おおむね予定どおり順調に進みましたが、音響については、午後からアンプが熱を持ち、音が割れるようになってしまいました。また、一部で音が良く聞き取れない場所があったようです。来年は、フロアーにス



ピーカーを1本追加するなどして改善したいと思っております。

最後に、今年のアニバーサリーは、天候にも恵まれ、800名を超えるダンサーの皆様にお集まりいただき、盛大に開催することができました。これもクラブ員全員がおもてなしの心で、それぞれの役割をよく果たしていただいた結果だと思えます。

来年のアニバーサリーをさらにより良くするため、皆様からのご意見をお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。みなさん、本当にお疲れ様でした。感謝！

【渡部三喜男】

受付担当

いきなりですが、魔の4月第3日曜日、我がクラブのアニバーサリーという日なのに毎年のように悪天候に見舞われ残念でした。だが、今年は違いました。何と穏やかな暖かな一日となり、本当にほっとするやら嬉しく思いました。



私は受付係という事で9時から11時までの担当となりました。例年のことながらそれはそれは忙しい2時間でした。猫の手も借りたいと言いますが自分の手がもう2本欲しい程の思いでした。次から次へとお出でになるお客様に「どうぞ一日ごゆっくりと楽しんで行って下さい、そして怪我の無いように。」という思いで業務に携わりました。

あっという間の2時間でした。無事に係の役目も終わり来年も又良い天気にも恵まれて素晴らしいアニバーサリーが出来ますようにと、お天道様に祈る思いでした。

あとは楽しい二次会が待ってまーす。

【三上八重子】

スナック担当

今年はお天気よく、気温も高くなり、久しぶりに良い天気でした。

前日の予報で、飲み物を1ケース増やしましたが、予想以上で不足してご迷惑をおかけしました。

果物は昨年同様に交渉買い付けにお骨折りを頂きました。ありがとうございます。皆さんに楽しみにされ、大変喜ばれました。



セレモニー後2回目のピーク時は、テーブルに手が届かずに待つ方が大勢いらっしゃいましたので、カウンターに提供できるように早めに準備し、取れるようにするのが反省です。また、来客者からまだ出ると驚かれたり、お褒めの嬉しいお言葉を頂きました。

スナック担当の皆様のご協力ありがとうございました。毎年同じ方をお願いし、申し訳ございません。本当にお疲れ様でした。

ご意見等ございましたらお伝えください、宜しくお願いいたします。 【鶴間治子】

案内掲示担当

「ダンダン良く鳴る〇〇の太鼓」会場がJFE体育館に移って回数を重ねる毎に設営部隊も慣れて来てほぼ予定通りの時間に終える様に成って来た。昨年から前日に設営に入れるように成ったのが大きい。然し一方で、

①会場案内の→表示の貼付は依然として問題が多い。迷路の案内に数が多いし、壁を使えない（壁張り禁止を無視して張っている会員がいた）のが痛い。工夫が必要。

②女子更衣室の目隠し衝立が今市一の出来だ。入口が一つに成った為出入りが交錯して混雑が著しい。立詰め案内係の負担軽減為にも二箇所欲しい所だ。

③正面階段の誘導も相変わらず徹底出来ていない。

④トイレの位置に関する質問が多い、大きな目立つ表示にするか、配布する案内図の工夫が必要と思われる。

他にも色々有ると思いますが、ご意見をお寄せ下さい。出来れば解決策のアイデアも。実現出来るかどうかは来年のお楽しみに。最後に、担当の皆様のご尽力に感謝、又感謝。

【飯塚 隆】



会場の掲示場所、時間の制限の中で、各担当が出来る限りの準備・対応をしていますが、それを無視した現場での突然の指示・行動が出て混乱した場面もありました。

今回はベストは望めないかも知れませんが、詳細な掲示場所の計画を事前に立て、担当・責任を明確にして、よりセンスのある案内をしたいと思います。

【高木 喜一郎】

場内誘導担当

今年も昨年に劣らないほどのお客様をお迎えし、盛大に開催することが出来ました。

その裏では、案内表示の掲示箇所に制限が有る為、来場者に見て理解をして頂く為に毎回同じ課題に頭を悩ませます。

飯塚さんに苦心の作の看板を作ってもらったり、かと思うと当日予定していなかった所にも看板を立てるように指示が出たり…慌てて廃材を利用して張り合わせ、見栄えは二の次といったところでした。

誘導の方は、一方通行の理解度は定着してきましたが、舞台裏の階段の段差が高いのと幅が狭い為、昇る人と下る人との交差時に渋滞が生じ、ダンサーの高年齢化と相まって危険性を感じました。来年はこの辺を改める策を考えたいと思います。例えば、終日一方通行にする等…。毎回問題と反省が浮上ってきます。係の皆様本当にお疲れ様でした。

【坂本れい子】

音響について

今回のアニバーサリーにあたっては、昨年の50周年記念パーティーでまあまあの音響であったことから、2会場ともほぼ同様のセッティングにしました。

メイン会場では、アンプをMA150（メイン）、MA220（サブ）に、スピーカーは、舞台上に3か所、会場左右に2ヶ所で4ヶ所、合計7ヶ所ハーフを設置し、昨年よりハーフを1基増やし、本番に臨みました。

今回も前日から会場が使用できましたので、当日は余裕で準備ができたと思います。

パーティーが始まり、昨年よりいい音が聞こえていると自己満足し、また何人かの人から「今までで一番いいよ」との声を聞き安心していったところ、2時間ぐらいたったクローバータイムから、音の左右のバランスがおかしくなり、ついには、スピーカーから、聞こえにくい割れた音がでて、苦情が徐々に。

途中、熱くなった150のアンプを交換しましたが、音は元に戻らず、早くこの場面が過ぎ去ることを祈るばかり。ゲストの大川さんをはじめコーラーの皆さん申し訳ありませんでした。

後半は、少し参加者も帰ったせいか、会場のスペースも余裕がでて、ゲストの迫力あるコールで盛り上がっていました。

いろいろありましたが、今回の反省を踏まえ、次回には、きっといい音響になるよう切磋琢磨したいと思います。

以上、関係者の皆さんの準備等ご協力ありがとうございました。

【窪園弘治】



クローバーリーフタイムス創刊40号記念座談会

我がクラブの会報は昭和58年に「おしゃべりたいむ」の創刊号が出されましたが、2号以降は現存しません。その10年後の平成5年に「クローバーリーフタイムス」として会報が復刊し、以後24年間、途中1年だけ休刊がありましたが毎年発刊を続け、今号で第40号となりました。クローバーリーフタイムスの前編集者にお話を伺いました。(H29.7.12)

創刊号の会報編集者であった岡本さんと第15号から引き継がれた池田さんにお話を伺ってみました。

T: 次号でちょうど40号となるので、これまでの編集者にお話をお聞かせ願います。

会報を作り始めたきっかけは。

O: クローバーに入って2年経った頃、飲み会で前にも何か会報があった、これからも会報があるといいよな、誰かを作ってよと言われて熊野さんと始めました。全体で話し合っただけのものではないので発行時期も適当でした。

T: 編集方針、目標とかあったのですか。

O: 特に無くてその時々で原稿を頼んでまとめました。ある程度たってから行事等を入れてパターン化してきました。

その頃は今のようにパソコンも無く、ワープロで文章を打ってカットを新聞等から集めて切り貼りし、写真も貼り付けコピーしたので、B5番の白黒でしかできなかった。

9号からは印刷代を節約するためA4版にしました。

I: 前号のまとめ方をそのまま模倣した。活字が小さいと言われ大きくした。年1回だと記事を頼んでも忘れてしまったと言われ、年2回発行を目標とした。特集と言うものは無く、その時々でまとめた。

21号からはカラー版となった。テクニックのある人が担当になると紙面が良くなる。

T: 原稿を集めるのに苦労しませんでしたか。

I: パーティー、アニバ、ジャンボリー等のイベントの記事をお願いしたが、その頃はほとんどの方が快く引き受けてくれた。

T: 今は三顧の礼で頼まないとなかなか書い

ていただけない。お年を召されると書くのが面倒になってくるのでしょうか。

T: 代々入会してから2~3年目の人が担当となっています。いきなりやれと言われて暗中模索、四苦八苦ししました。会報作成に苦労されたことはありましたか。

O: 以前は色々なイベントについて協力的に書いていただけたので苦労は無かった。

I: 以前年2回の発行した時は頁数を減らして6頁とした。

T: 引き継いだ当時、誰に記事を依頼していたか分からなかった。8頁を埋めるのが大変だった。行事だけでは埋まらないので、SD川柳、ツイッター、アーカイブ記事など色々な企画を取り入れた。

歳をとると読みにくくなるかと字体、大きさを考えた。写真が多くて良かったとの意見があったので、できるだけ写真、絵を入れ興味を引くようにした。

ただ会員の反応が少なく、何を載せたらいいのか分からない。

I: アンケートを時々取ってみたらどうか。

T: 会報の他のメンバーの協力はどうか。

O: ほとんど熊野さんと二人で作っていた。

T: 分担してやるとかえって時間がかかり、記事さえ集まれば一人でまとめてしまった方が早い事もある。写真、手書き原稿の打ち込み、校正は手伝ってもらっている。

T: 思い出に残る号、記事はありますか。

O, I: 昔の事であり記憶にない。

T: 私は最初の号から読んでみて、窪園さんの「ダンスを初めてもう〇年」連載記事、シンガポール旅行、荒さんの減量奮闘記などがお

もし良かった。

T: 記事を書いてもらうのに配慮したことは。

O: アニバの記事を頼む時、毎回頼む人を変えて同じ人にならないよう気を付けました。

T: 記事集めの為、積極的に外のパーティー、イベントに参加する様になった。会員が興味を引くものはないかとファッションショー、少し変わったパーティーの取材もした。

T: 会報の位置づけを改めて議論したいと思いますが。

I: ホームページもあるが、会員で見られる人が何割いるか疑問。会報はクラブ内、ホームページは外部への発信と区分すべきか。ホームページは写真の掲載等プライバシーの制限もある。しばらくは紙ベースも必要かと思う。

会報はあるのが当たり前と思っている会員が多いが、発行が定着しているのはすばらしいことだと思う。

T: 今号はデザインでは新しい人に頑張ってもらい、タイトル等を変えるつもりですが、もう一度会報とは何かを考えて、新しい感覚で編集してくれる人を望んでいます。本日は貴重なお話ありがとうございました。

歴代編集責任者 (現会員)

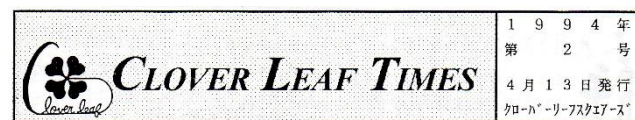
岡本允子さん (O) : 第1号~19号

池田二三男さん (I) : 第15号~23号

入野野靖子さん : 第20号~29号

高木喜一郎 (T) : 第30号~

歴代の会報のタイトル



クローバーリーフ作草部 第1回ビギナー講習修了

平成28年公民館自主講座、スクエアダンス入門の第1回目から1年掛かり、途中3名がクローバーリーフのビギナー講習にも参加し一足早く1月に修了、残り6名が月2回の講習を頑張り通し、5月23日の修了パーティーでディプロマを授与されました。

これまで毎回16~18名のクローバーリーフの皆様がエンジェルとして応援して頂いたからこそ、この日を迎える事が出来ました。会長の窪園コーラーは4回目位迄は講習生の出入り激しく前回の復習が多く、なかなか先に進

めず苦労が多かったと思います。またクラブは違いますがクロスロードの原口さん、コーラーの助手として毎回応援頂き、本当にありがとうございました。

早めの修了3名と今回の修了6名、併せて9名がクローバーリーフ作草部教室の中心となり、毎年新しくビギナー生を迎えてクローバーリーフ会員として役立てたら素晴らしいなあ! と思いつつ世話人としてもう少し見守って行きたいと思っています

【世話人: 高橋利行】

クローバーリーフ作草部クラブ修了生寄稿
☆78才で出会えたスクエアダンス、時少々遅し、コールに体が付いて行けず悩みましたがクローバーリーフの皆様のご指導に励まされ何とかここまでついてきました。これからは脳トレと健康維持の為、ここで出会えた素敵な皆様と少しでも長く踊っていきたくと抵抗していたコスチュームを着て、少しでも多くのパーティーに参加してみたいと思うようになりました。

【吉野たま】

☆昨年の4月に JFE 体育館で初めてスクエアダンスを見学して、脳トレにも体にも良いダンス、でも私にはできないと思っていました。しかし先輩方が丁寧に根気強くご指導頂いたおかげで、修了することが出来ました。

少しずつ踊れるようになってきて、最後まで踊れた時の達成感はいしばらく感じた事の無い経験でした。

また私は転勤族でしたので、スクエアは新しい土地でもサークルさえあれば、すぐに始めることができ、仲間ができるということも大きな要因でした。これから有意義な充実した人生を送ることが出来るだろうスクエアの仲間となれたことに感謝しています。

【深澤順子】

☆友に「脳トレにいいわよ」と誘われて始めたスクエアダンス。月二回の練習では覚えたと思ったのにまた忘れてる、そんな迷える私を手取り足取りリードし教えてくれる先輩方。そのリードのおかげで何だか踊れるような気



になってきました。そして練習が終わった時の心地よさ。スクエアダンスが楽しくなりました。

今はもう、クローバーリーフの素敵なコスチュームを着て皆さんと一緒に輪の中で踊っている夢を見えています。スクエアダンスの出会いに感謝、仲間への感謝。老後の楽しみがまた一つ増えました。

【中村洋子】



☆落第・再入学の弁

クローバーリーフの第59回のビギナーコースを終えて修了証も頂き一年が経った3年前に、事情により夜の集まりに参加できなくなり、落第しました。その2年後に作草部に新しいクラスが出来るので来てくださいという誘いを頂き、再入学となりました。初心に帰って学び直すことにします。ダンス後の爽快感を求めて、平日の練習に励みたいと思います。

【大塚剛宏】

☆フォークダンスと言われ誘われて行ったのがスクエアダンスでした。最初は全く分からず、覚えては忘れ、こんなふうで続けて行けるのかとても心配でした。でも先輩方々の優しさで今日まで何とか続けてこられました。

まだまだ覚えるのに必死ですが頑張りたいと思います。

【中村雄子】

☆スクエアダンスとの出会いは、千葉市政だよりで知りました。スクエアダンスって何…？興味が湧き、取りあえず電話をしました。

年齢制限は無いと知り申し込みをしました。

初めて参加した時に、数十年ぶりの知人に会い嬉しくなりました。4回の体験講習で色々なことを教えて頂きました。途中体が付いて行けずくじけそうになりましたが、先輩の方の笑顔での指導や仲間同士での絆で卒業出来ました。皆様に感謝してこれからも頑張っています。

【高尾純子】

.....

次のお三方は第63回ビギナー生卒業文集(2017年1月)に寄稿頂いておりますのでご覧ください。

森由利子さん、今田玉緒さん、高橋昭子さん

* 私のチャレンジ・趣味・特技 *

準会員の小川さんが四葉のクローバーを探して、しおりを作られています。もう咲いている季節は終わってしまいましたが、皆さんも来春探してみませんか。



* * * 四葉のツイッター * * *

ダンス、クラブ、パーティーなどでちょっと感じたことをつぶやくコーナーを作りました。投稿をお願いします。

遅れた人をつい押ししたり引っ張ったりしてしまいますが、ベテランの方のするリードはとてもやわらかいですね

優しいリードが出来るように上達したい。

覚えるのは遅く、忘れるのは速い。

例会には欠かさず参加しましょう。

* * * お役立ち情報 * * *

千葉県スクエアダンス連絡協議会のホームページが開設されました。

県内各クラブのパーティー情報等、お役に立つイベント等が掲載されていますのでご活用下さい。



* * * SD 川柳 * * *

念ですが川柳は今回お休みさせていただきます。

代わりに、クロスロードの原口さんから大変参考になる記事を頂きましたので、紹介いたします。

18歳と81歳の違い 笑点 (H29.5.26)

名回答

- 一、道路を暴走するのは18歳
逆走するのは81歳
- 二、心がもろいのは18歳
骨がもろいのが81歳
- 三、偏差値が気になるのは18歳
血糖値が気になるのは81歳
- 四、受験戦争を戦っているのが18歳
アメリカと戦ったのが81歳
- 五、恋に溺れるのが18歳
風呂で溺れるのが81歳
- 六、まだ何も知らないのが18歳
もう何も覚えていないのが81歳
- 七、東京オリンピックに出たいと思うのが18歳
東京オリンピックまで生きたいと思うのが81歳
- 八、自分探しをしているのが18歳
出掛けたまま分からなくなって皆が探しているのが81歳

.....編集後記.....

第40号記念としてデザインを一新しようと思いましたが間に合いませんでした。また大特集号にしようと思いましたが、先輩方々のお話を紹介するだけとなってしまいました。

これからも継続して発刊できるよう、会員のご意見、ご協力、ご参加をお願いいたします。

体調不良で発行が大幅に遅れてしまったことをお詫びします。見切り発行で校正漏れも多々あると思いますが、ご容赦を。